

優れたドキュメンタリー映画を観る会 vol.23

# 見よ、この人を!



2009年4月25日(土)  
～5月2日(土)

## 下高井戸シネマ

モーニング&アフタヌーン&  
レイトショーにて  
ドキュメンタリー映画11作品

料金：一般・学生 1300円  
小・中・シニア・会員・障害者 1000円

前売 1回券 1000円  
前売 5回券 4500円

絶賛発売中!

1回券はチケットぴあ・劇場窓口にて、  
5回券は劇場窓口にてお求め下さい  
チケットぴあ/Pコード：460-609

# 見よ、この人を!

どん底の不況の中で、ドキュメンタリー映画が市井の人々に生きる力を与えることが出来るならば、ヒューマン・ドキュメンタリー及び社会的な問題を扱った作品を集め特集上映会を開催致します。

優れたドキュメンタリー映画を観る会 代表・飯田光代



## 小三治

09年/日本/1h44/監督:康宇政  
出演:柳家小三治/立川志の輔/桂米朝  
当代随一の噺家、柳家小三治。人々が惹きつけられる「噺」を紡ぎ出す裏側には何があるのか?高座の表舞台と裏舞台で落語を通じて、弟子を育てること、己を磨くこと、そして落語と格闘する噺家の「ひたむきな姿」を映し出す。



## あもーる あもれいら 第2部・勝つ子 負ける子

08年/ブラジル・日本/1h45/プロジェクター上映  
監督:岡村淳  
ブラジルの貧しい家庭の子供が通う保育園を記録したシリーズ2作目。問題が相次ぐ日常の中で迎えた、年に1度のお話し大会。園長であるシスターのわらいは、子供たちが「負ける」ことを学ぶこと。 劇場初公開



## パレスチナ1948 NAKBA (ナクバ)

08年/日本/2h11/プロジェクター上映  
監督・撮影・写真:広河隆一  
イスラエルが建国された1948年、70万人以上のパレスチナ人が難民となった。動乱の中東の核心にあるNAKBA。世界に隠された続いた悲劇的な歴史が、40年に渡る徹底的な取材によって、いま姿を現す。



## シアトリカル 唐十郎と劇団唐組の記録

07年/日本/1h42/プロジェクター上映  
監督:大島新  
近年、再評価の動きが高まる唐十郎。選考をどうに過ぎても、名声を得てもなお、ただひたすらに舞台上に立ち続ける彼を追う。平成の世を疾走する最重要無形文化財の魂の記録。  
●07年度日本映画批評家大賞  
ドキュメンタリー作品賞



## 白い花はなぜ白い -哲ちゃん・映像作家-

08年/日本/1h24/プロジェクター上映  
監督:伊勢真一  
植物学者「牧野富太郎」を敬愛し「穂高」を描いた映像作家、渡辺哲也。旧友、伊勢真一が撮るレタイエムは、白い花・二輪草に夫婦愛を添えた詩情豊かなヒューマン・ドキュメンタリー。



## チェ・ゲバラ -人々のために-

99年/アルゼンチン/1h29  
監督・脚本:マルセロ・シャブセス  
かつての友人、同志、愛娘らが、エルネスト・チェ・ゲバラに対するそれぞれの想いを語る。そのインタビューと貴重な記録映像から、彼の性格、信念、数々の戦いの記憶、そして日々が暮らしていく。



## URINARA 祖国 -母のまなざし、息子の声-

05年/日本・韓国/1h00/プロジェクター上映  
監督・制作:河真鮮  
小学校5年生で来日し日本の生活にすっかり慣れた高校3年生の夏、韓国の徴兵に行かなければならないことを知った監督の息子、ユウサン。兵役のため祖国に戻った彼の姿を追う。



## からっ風と太陽が知っている ~こころみ学園物語~

04年/日本/1h45/プロジェクター上映  
監督:藤澤勇夫  
足利市の山間部にぶどう畑に囲まれた、日本で唯一ワイナリーを持つ知的障害者施設「こころみ学園」がある。園長は川田昇さん。泥だらけになって働く農作業は過酷だが、園生の表情はみんな明るい。 劇場初公開



## フツの仕事がしたい

08年/日本/1h10/プロジェクター上映  
監督・撮影・編集:土屋トカチ  
1日18時間の労働と低賃金、休みなし。家に帰れない日々が続く。ひとりのトラック運転手の生き残るための闘いを通して現在の日本の労働状況を見つめる。格差社会の現実を容赦なく突きつける骨太な一本。 劇場初公開



## 多摩ニュータウン わたしの街

08年/日本/1h26/プロジェクター上映  
監督・脚本:森康行  
高度成長期に開発された、多摩ニュータウン。ゼロから地域社会を築き上げ、高齢化が進む現在も介護を支える輪がある。ここに暮らす人々の姿から、社会とは何か、故郷とは何かを問いかける。 劇場初公開



## 40年目のビデオレター アマゾン編

02年/ブラジル・日本/1h18/プロジェクター上映  
監督:岡村淳  
1962年春、700名近い移住者を南米4カ国に運んだ「あるせんちな丸」。あれから40年、アマゾン河をさかのぼって行った同船者たちの今を追ってわかったのは、あまりにも多様な移住者それぞれの人生だった。 劇場初公開

	4/25(土)	26(日)	27(月)	28(火)	29(水・祝)	30(木)	5/1(金)	2(土)
モーニング	あもーる あもれいら トーク:岡村淳(監督) 10:30	シアトリカル 10:45	チェ・ゲバラ -人々のために- 11:00	からっ風と太陽... トーク:藤澤勇夫(監督) 10:25	多摩ニュータウン トーク:石田恭子(注2) 11:00	フツの仕事がしたい 11:00	パレスチナ1948 NAKBA 10:15	
アフタヌーン	小三治 PM 1:30 トーク:4/26(日)伊勢真一(編集) 4/29(水・祝)康宇政(監督)							
ナイト	パレスチナ1948 トーク:森沢典子(注1) 20:45	白い花はなぜ白い トーク:伊勢真一(監督) 20:50	URINARA 祖国 トーク:河真鮮(監督) 20:50	フツの仕事がしたい トーク:土屋トカチ(監督) 20:50	40年目のビデオレター トーク:岡村淳(監督) 20:50	チェ・ゲバラ トーク:星野弥生(注3) 20:50	シアトリカル トーク:大島新(監督) 20:50	小三治 トーク:康宇政(監督) 21:15

注1:森沢典子...製作(「1コマ」サポーターズ) 注2:石田恭子...NPO法人 たつなみ会 事務局長 注3:星野弥生...「父ゲバラとともに、勝利の日まで」編著者  
\*スケジュールは変更になる可能性がございます。 \*トークは上映の前夜とどちらかに10分程度を予定しております。

●ロビーにて唐十郎「唐組」ポスター回顧展を開催します。  
●世田谷手をつなぐ親の会の作品を販売します。  
●各回先着5名様に「エイブル・アート・ジャパン」オリジナルポストカードをプレゼント!  
●4,28(火)と5,1(金)は料金サービスデー。みなさま1000円でご覧いただけます。  
●このチラシご持参の方3名様まで割引します。(一般・学生のみ100円引き)

京王線・世田谷線 下高井戸駅徒歩2分 京王線下りホーム沿い TEL03(3328)1008

# 下高井戸シネマ

主催 優れたドキュメンタリー映画を観る会 監製 ヒポ コミュニケーションズ/バイオタイム/いまじん/いせフィルム/バイオニア映画シネマデスク/ピクチャー・パン/映像グループ  
ローポジション/多摩ニュータウン映画製作委員会/cochae/下高井戸シネマ/合田佐和子  
後援 世田谷手をつなぐ親の会/世田谷こどものいのちネットワーク/下高井戸商店街振興組合/市民運動いち/人の泉「Be」/たつなみ会/自立の家を作る会/神戸をわすれない世田谷/シネマとフェミニズム研究会/日大文壇映画研究会/マレット/悠倫学舎/ガラージュベア/ダラシネの会/まだん陶房/あしたや共働企画/アトリエ Le Monde/フリースペース寺子屋/グラス・ホッパー/サロン・ルミエール/らくだとTUBO/蕎麦処くりはら/トスキナアの会/風を編む/7つの水仙/若本酒店(順不同)